



笑顔が守った命 ～苦しみを希望に変える笑顔のチカラ～

にぎやかな声が戻ってきた2学期始業式。

地震や豪雨などの災害が続く中、あらためて笑顔のもつパワーをみんなで確かめました。

今日、9月1日は2学期の始業式ですが、他にも特別な意味があります。

防災の日といって、地震や大雨などの災害に備える気持ちを高めようという日でもあるのです。今から103年前の9月1日、関東大震災というたいへん大きな地震があり、たくさんの方が亡くなりました。この出来事を忘れないために、地震などの災害への備えを忘れないために、9月1日を防災の日と決められたのです。

それから、7月末の熊本地震のほか大きな地震は何度も起きています。今日は、15年前の東日本大震災のときに、みなさんが大切にしている「笑顔」が、たくさんの命を救ったという話がありましたので紹介します。

『笑顔が守った命』という絵本です。津波から150人の子どもを救った保育園の先生たちの話です。本当にあった話で、一人の先生を主人公にして物語は進んでいきます。

～ 絵本を抜粋して紹介 ～

「子どもたちを不安にさせないように、みんな必死で笑っていました。」

「いつもの笑顔を見た瞬間、体から力がふっとぬけて、涙があふれました。」

「みんなの笑顔を見ながら、体中にあったかいものが広がっていくのを感じました。」

私はこの話を読んで、笑顔のチカラをあらためてすごいと思いました。笑顔は、不安で押しつぶされそうな人たちを勇気づけて、生きる希望を与えてくれたのです。ほんとうに素晴らしいことです。

笑顔を大切にしてきた鬼塚小学校を、みなさんを誇りに思います。

これからも笑顔のチカラを信じて、友達と、先生と、みんなで一緒に
「笑顔いっぱい学校づくり」を頑張っていきましょう。



今もなお、地震や豪雨などの災害により厳しい生活を強いられている方々がいらっしゃると思うと胸が苦しくなります。そうした方々にも届くように、鬼塚小のみんなで精一杯の笑顔パワーを振りまいて、毎日の生活を送っていければと思います。

保護者、地域の皆様にも、引き続きご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。

生活リズムを取り戻そう ～正しく食う・寝る・遊ぶ～

子ども達はどんな45日間を過ごしたでしょうか？

きっと学校ではできない体験、時間の使い方をして有意義な夏休みであっただろうと思います。たっぷりと充電できたのであれば幸いです。今日から再び始まる学校生活とのギャップに苦しむ子どもも少なくないでしょう。一日も早くペースを取り戻す必要がある中、多くの時間をメディア視聴に使っていたとすれば、からだへの影響も心配されます。

人間の進化は技術の進歩に追いついていません。脳の基本的な機能は1万年前とほぼ変わらないと言われています。子ども達の健やかな成長のため、「しっかり食べる」「よく寝る」「体を動かす」ようお声掛けをお願いします。



ハチが イノシシが …招かれざる客に注意！！



高いところに汗だくで…

7月末、地区防犯協会&PTA役員の方々にスズメバチの罫を仕掛けていただきました。前庭を中心に全部で10か所ほど。昨年はスズメバチの巣も見つかったため、市に依頼し撤去してもらっています。

一方で、お盆前には大運動場にイノシシの死骸が！
動物の死骸を見つけた際には、感染症の心配等ありますので、直接触れずに市の鳥獣対策室または学校へご連絡ください。

9月の主な行事

やむをえず変更になる場合があります。ご了承ください。

- 16日(水) 命の授業(2年)、性の教育(4年)
- 17日(木) ミニ集会・たてわり遊び
- 24日(木) お米の歴史学習(5年)
- 25日(金) 大谷川探検(3年)
- 28日(月) 運動会応援団結団式
- 29日(火) 性に関する授業(5・6年)

感謝



お盆明け、酷暑が戻ってきた日でした。2学期からの学校再開に向け給食センターから学校への配送手順を確認する「テスト配送」がありました。「時間通り」「安全に」給食を届けるために、こうしてシミュレーションが行われるのです。本当にありがたいことです。

これからも感謝の気持ちを忘れずにおしくいただきます。あわせて、日頃食事を作ってください家族にも感謝の気持ちを持ってもらいたいです。「食べたものでできている体」です。